

デンタル・プレゼンテーション

Dental presentation



内山 茂（うちやま しげる）

1977年 東京医科歯科大学卒業
1984年から2013年 所沢市ウチヤマ歯科医院院長
1998年から 東京医科歯科大学臨床教授
2013年から 東京医科歯科大学臨床研修医指導医
1978年から約20年間母校同窓会で卒後教育の一環として学術講演会の企画運営に当たる。その後開始した自身の講演活動は延べ300回を超え、現在はその経験を生かして、プライベートセミナー、オーダーメイドセミナー等により後進の育成に尽力している。

「デンタル・プレゼンテーション」vol.2

第1部（総論）

<優れたプレゼンテーションとは>

優れたプレゼンテーションとは一体どういうものでしょうか。私は今までの経験から「わかり易さ」を一番にあげます。第一優先は「受講者は何を聴きたがっているのか」で、「自分が何を話したいか」ではありません。参加者の数、年代、職種等で内容は変わります。中でも、講演テーマに詳しい人の集まりか、一般の歯科医が多いかは重要なポイントです。小さなスタディーグループと大会場の講演会とでは、話の組み立てや強調点だけでなく、声のトーンやスピード、質疑応答や休憩の取り方まで違ってきます。事前の情報収集はプレゼンの質を高めることができるため、願わくば、前もってアンケートや質問を、それが無理なら主催者側から「当日聴きたいこと」をリストアップしてもらえば万全な準備ができます。要は早い段階からしっかり準備することです。

<大きなプレゼンで舞い上がらないようにするためには>

人前で緊張する人への究極のアドバイスが、「プレゼンの極意を盗め」（戸田覚 著、ダイヤモンド社）という本で紹介されています。「緊張の度合いは練習量と反比例する。練習しても緊張する人は…うまく進まなくなったらどうするかを考えておけばいい。たとえば、手元に原稿を用意しておく。頭が真っ白になったら読み上げてしまえばいい。対策ができていれば緊張しなくなる。」初めて講演をする方は原稿を用意して、暗記しましょう。丸暗記は必要ありませんが、今どこにその内容が書いてあるかわかるだけで、気持ちは安定します。講演は回を重ねるたびに慣れてきます。それは前回は今回の練習になっているからです。本番で緊張しないためには、一にも、二にも練習です。

<休憩と質疑応答について>

講演時間が長い場合、1時間半で1回の休憩をとります。2時間の講演では最後に1回だけの質疑応答、3時間の場合は途中1時間半で休憩を入れて、各々の最後に10分程度の質疑応答を入れるのが一般的です。4時間以上または1日講演では、これをモディファイして休憩と質問のタイミングを開催者と打ち合わせます。大会場で受講者は気後れして質問が出ないので、サクラ質問を準備しておくのも一法。受講者から事前質問を集めておくのも講演

を盛り上げる秘訣です。講演中に客席を歩き回って直接質問のマイクを向けることは賛成できません。受講者にはたまたま聴きにきた人や人前で話すのが苦手な人もいます。場

違いな質問や長い個人的な質問には、「簡潔にお答えすることが難しいので、あとで詳しくメールしてください。必ず返信します。」と言って受け流します。逆に、核心を突いた質問には真摯に対応します。わからないことや、違う見解で迫られたときは、ごまかさず、わからないことはわからないと率直に言います。時には、質問者にこちらから質問して教えていただくという謙虚な姿勢も大切です。意を決して質問してくる受講者に、まず「良い質問ですね」と言ってから答えるのも好感が持たれます。常に謙虚な姿勢を忘れないよう努めましょう。質疑応答こそが自分の全人格が問われる時です。質問が出ないときの奥の手で、プレゼンの最後に想定質問のスライドを入れておく手段があります。以前の質問や主張したいことをFAQの形で用意すると、講演が締め、時間ぴったりに終わらせる裏技になります。スライドに風景や海外旅行の写真を挟むことは、話の流れを妨げるため、賛成できません。写真にまつわる思い出話をされると、興ざめになる恐れがあります。結論として、「息抜きにも緩急をつけて」をこの章のテーマとします。



“メルサージュ レギュラー、ファイン”



使用感に優れた、フッ素配合歯面研磨ペーストです。水、だ液、さらに歯面にも良くなじみ、サラッとしていてべたつかない性状なので、効率良く研磨できます。

洗浄も簡単で口腔内に残る感じがありません。また、識別しやすい色

調で、ペーストがなくなった歯面での空磨き、発熱を起こしにくいことから、患者さんにとってもメリットがあります。

ペーストは2種類ありますが、「ファイン（細粒・レモン）」をスタンダードとし、「レギュラー（粗粒・ミント）」は着色の著しい歯面に使用しています。



メルサージュ レギュラー、ファイン